

## 令和 7 年度 事業報告について

## 事業の概要

## ① バス案内人によるガイドサポート事業

主要な交通結節点である J R 安城駅及び安城更生病院において、バスの利用方法、バスのお問い合わせ等、初めてバスに乗られる利用者やバスに乗り慣れない利用者のバスの乗り方のガイドサポートを行った。

また、ららぽーと安城開業に伴う西部線・作野線の迂回運行の混乱を避けるため、名鉄新安城駅及び J R 安城駅においても追加でガイドサポートを行った。

● 予算額：1,190,000 円

● 決算額：1,084,664 円

● 実施時期：

(ア) 令和 7 年 4 月 18 日～5 月 11 日（名鉄新安城駅、J R 安城駅）

※土日祝を含む全日

ららぽーと安城開業当初は市外からの来訪者に対して、迂回運行や行き方の案内を実施した。

(イ) 令和 7 年 7 月 22 日～8 月 29 日、10 月中（J R 安城駅、安城更生病院）

※土日祝を除く（安城更生病院は安城七夕まつり期間中も実施）

夏休み期間中は、子供たちにアンフォーレやマーメイドパレスへの行き方を案内した。

## ② バス時刻表、バスマップ等の作成、配布

市内のバス情報をより多くの市民に知ってもらい、お出かけにご利用いただくため、あんくるバス時刻表（外国語版）、バスマップ（日本語版、外国語版）の作成、配布を行い、公共交通利用の促進を図った。

● 予算額：860,000 円

● 決算額：598,950 円

● バスマップ等の作成、配布

ア 実施時期：令和 7 年 7 月、10 月、12 月（バスマップ増刷対応）

イ 配布部数：下記表のとおり（令和 8 年 3 月 31 日現在）

	日本語版バスマップ	外国語版バスマップ	外国語版時刻表
作成部数	20,000 部	1,000 部	1,500 部
配布部数	17,000 部	650 部	1,300 部

## ③ 利用促進事業

小中学生の夏休みあんくるバス無料乗車キャンペーンを実施し、市内の全小中学生にあんくるバス無料チケット 8 枚とおすすめプランを掲載したチラシを配布し、小中学生のうちから公共交通利用に対する意識づくり、きっかけづくりを行った。

また、作野線中型化に伴う「ペーパークラフト」の作成、「あんくるバスシール」を作成し、イベント時や商業施設での配布、児童クラブでの活用及び安城市公式ウェブサイトに掲載をして啓発を図った。

●予算額：560,000円

●決算額：434,524円

(1) 無料乗車キャンペーンチラシ配布

ア 実施時期：夏休み期間中

イ 利用者数：下記表のとおり

年度	小学生	中学生
令和7年度	3,962人	1,772人
令和6年度	4,403人	2,056人
令和5年度	5,427人	1,488人
令和4年度	2,576人	1,230人

(2) 啓発用品の作成

ア 実施時期：令和8年2月～

イ 実施内容：作野線中型化に伴うペーパークラフトの作成、あんくるバスシールを作成し、公共交通の啓発用品として活用した。

#### ④公共交通活用ガイドの作成、配布

市内の公共交通情報、バス・シェアサイクル等の利用方法、バスを使ったおすすめお出かけプラン、公共交通利用のメリット等を載せた公共交通活用ガイドを作成、配布を行い、公共交通利用への意識転換を図った。安城市への転入者や出前講座実施の際に配布するほか、公共施設等にも設置し、広く公共交通利用をPRした。

予算額：440,000円

決算額：181,500円

実施時期：令和7年9月～

作成部数：5,000部

配布部数：1,600部（令和8年3月31日現在）

主な配布先：市内転入者、公共施設、イベント等

#### ⑤あんくるバス運行事業負担金

あんくるバス運行事業に対し、国庫補助額（安城市総合交通会議に入金）と同額を安城市に支払い、運行負担金に充てた。

また、令和8年度地域公共交通計画（地域間幹線系統・地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）の認定申請についても行った。

(1) 地域間幹線系統 (東部線、西部線、作野線)

予算額 : 12,565,000 円

決算額 : 12,558,000 円

(2) 地域内フィーダー系統 (循環線右まわり・左まわり、安祥線)

予算額 : 9,365,000 円

決算額 : 7,298,000 円